

日本空港ビルグループ環境方針

(趣 旨)

日本空港ビルグループは、公共性の高い旅客ターミナルの建設・管理運営を担う企業グループとしての使命を鑑み、「サステナビリティ基本方針」に則り、ステークホルダーと連携しながら地球環境と調和した持続可能な空港の実現を目指します。この方針の下、環境負荷の低減に向けた推進体制を構築し、環境の保全に取り組むとともに、環境を阻害する事象の未然防止に努めます。これらの取り組みの確実な実行により、事業活動を通じて持続可能な社会の実現に貢献してまいります。

(適用範囲)

この方針は、日本空港ビルグループの全ての役員・社員に対し適用されます。なお、取引先等については、本方針に準じる「サステナブル調達ガイドライン」を適用することとします。

(法令等の遵守)

日本空港ビルグループは、環境に関する法令や条例、国際的な宣言や条約、業界や自社の基準を遵守します。

(環境の保全に関する取り組み)

日本空港ビルグループは、事業活動全体を通じて以下の取り組みを進めます。

(1) 気候変動への対策

- (ア) 空港施設や業務車両からの温室効果ガス排出量を削減します。
- (イ) 省エネルギーの実践に加え、再生エネルギー・新エネルギーの調達にも取り組みます。

(2) 限りある資源の有効活用

- (ア) 3R (Reduce・Reuse・Recycle) の考え方に基づき、プラスチックをはじめとする廃棄物を削減します。
- (イ) 節水及び雨水・排水の中水再利用により水資源を有効活用します。
- (ウ) アップサイクル商品の開発・販売などに取り組みます。

(3) 環境汚染の防止

- (ア) 廃棄物を適切に処理し、環境汚染を防止します。

(4) 生物多様性への配慮

- (ア) 生物多様性の保全に配慮した認証品の取扱いなどを通じ、生物多様性の保全に配慮します。
- (イ) 環境配慮商品など、エシカル商品の取扱い拡大に取り組みます。

(環境負荷低減策の追求と継続的改善)

日本空港ビルグループは、事業パートナーとの連携を通じ、環境負荷の低減につながる対策について継続して追求し、その取り組み及び環境管理の仕組み全般に関する継続的改善に取り組めます。

(意識啓発活動)

日本空港ビルグループは、環境に関する意識啓発のため、すべての役員・社員に対し適切な研修を行います。

(情報開示)

日本空港ビルグループは、環境の保全に関わる取り組み状況の開示に努めます。

以 上

田中 一仁

日本空港ビルディング株式会社
代表取締役社長 田中 一仁